

インフラ整備の状況と熊本空港の利用状況

1 インフラに関する動き

公表日	事業者	設置場所	投資見込額 (億円)	時期	内容
11/28	熊本県	菊池市	150	2026年 4月	<p>県は半導体工場向けに、2027年度中に菊池市のダムの水を工業用水として利用する計画を明らかにした。約150億円を投じて浄水場や配水池、管路などを整備し、農業用パイプラインなどで工場が集積する菊陽町周辺に給水する。</p> <p>また、同日明らかにした整備計画によると、浄水場の敷地面積は約3haで、配水池の容量は約9万m³。給水管は長さ約15kmを見込む。日量で最大1万2000m³の供給を想定しており、当面は日量6000m³の送水から始めて段階的に引き上げる。</p>
12/3	菊陽町 ・ JR九州	菊陽町	20	2029年春 以降	<p>菊陽町は、JR九州が町の要望を受けてJR豊肥線の三里木ー原水駅間に計画する新駅について、2027年春としていた開業時期を29年春以降に延期する方針を明らかにした。町が、新駅をまちづくりと地域公共交通の拠点に位置付ける「立地適正化計画」を策定するため。</p> <p>新駅と原水駅を結ぶ線路北側の約70haで町が計画している土地区画整理事業のスケジュールと足並みをそろえる狙いもある。区画整理は26年度の事業認可、28年度の造成着手を目指している。</p>
12/18	熊本国際空港	益城町	2.79	2026年 3月	<p>熊本国際空港は、国際航空貨物の通関手続きや一時保管、荷さばきに使う施設「貨物上屋」の整備に着手している。TSMCの菊陽町進出などで需要の増加が見込まれている。貨物上屋は、駐機場東側の一般の立ち入りが制限されている区域内に建設する。建設費は約2億7900万円を25年3月までに終える予定。</p>
12/20	熊本県	熊本市	10	2026年 10月	<p>県は熊本港で整備を進めている企業向け第2次分譲先行分譲する4haで購入企業を募集している。港を利用して原料や製品を輸送する。分譲するの4区画で各1ha。価格は26日まで企業を公募し、県の関係部署でつくる選定委員会で審査し、優先交渉順位を定める。26年10月以降に分譲を開始する。</p>

以降は会員専用ページにて公開しております。
 ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
 アクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)